

令和4年度 第3回学校運営協議会議事録

令和5年2月8日(水) 13:00～14:40

千塚小学校 家庭科室

進行:教頭 記録:教務

委員

7人出席

1 副会長挨拶

- ・一昨日3年生の授業を参観した。コロナ禍であるが、地域の方の参観もあり、元気に生き生きと発表する子どもたちの姿が印象的だった。少しずつ戻ってきていると感じた。

2 校長挨拶

- ・本校でも2学期末からコロナ感染者が増えてしまった。1月には感染拡大し、市教委との協議・指示を受けて、学校運営協議会会長、PTA会長にもその都度相談・報告し、3学年を学級閉鎖とした。コロナが治まってきた現在、インフルエンザ、胃腸炎の児童が増えていて心配。
- ・2学年ずつ宮スケートセンターでのスケート学習、3学年ずつの授業参観も実施できた。一日入学は感染状況を考慮して、保護者のみの「説明会」に変更。
- ・子どもたちは制限がある中、たくさんのごことに挑戦し、成長が見られた。その成長を2学期、3学期の授業参観で発表し、家族や地域の方にも見ていただくことができた。
- ・教諭が傷病休暇を取るようになった。が担任として、また教頭、教務も授業を受け持ち、学びをとめないように努めている状況。

3 本日の日程確認(教頭)

- ・式次第参照
- ・災害備蓄用クラッカーの紹介

4 何でもコンサート試聴 ～13:40

委員) 我が子が家で練習していたことを思い出し、子どもたちが1分間の発表のために一生懸命練習していることに感動した。残してほしい行事の一つ。

5 協議(進行:副会長)

(1) 令和4年度学校評価のまとめについて(教頭) 資料1

- ・学校としてはあいさつが課題だと考えている。高学年が手本となるように発達段階に応じて指導をしていく。「ありがとうの木」への取組も続けていく。(徳)
- ・自分の思いを伝えられるように、ペア学習やグループ活動を意図的に取り入れていく。(知)
- ・体を動かすことで達成感が味わえるような取組をしていきたい。(体)
- ・学校では読書をしているが、保護者は家庭ではしていないと捉えているので、手立てを考えていきたい。
- ・コロナ禍で制限はあるが、できることを考え、実施していきたい。
- ・自由記述に対する回答はホームページにも掲載しているので、ご覧いただきたい。

(2) 令和4年度小中一貫教育のまとめについて(教頭・教務主任) 資料2

①吹上ブロック小中一貫教育学校評価報告書(案)について

- ・重点目標1は道徳についての取組。アンケート「道徳の時間は、日常生活の中役に立っている」に3校とも8割が肯定的な回答をしている。
- ・重点目標2は望ましい人間関係の構築。アンケート「誰かが困っているときは、すすんで声を掛けたり、助けたりしている」「互いを思いやり、穏やかな気持ちで生活している」に3校とも8割が肯定的な回答をしている。

- ・「多様な性」への取組は小学校からの系統的な指導が成果を結んだように感じられる。不登校児童・生徒が増えている現状を踏まえ、今後、他者とのコミュニケーションを大切に、積極的に学校生活を送ることのできる児童生徒の育成を図る環境作りをしていく。

②家庭学習の取組について 資料学力向上リーフレット

- ・小中一貫教育の取組の一つとして、家庭学習強調週間を設けている。家庭学習時間、ノーメディアデーへの取組等を「学習だより」で保護者に知らせている。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣が身に付いていたり、計画的に家庭学習をしている児童生徒はテストでの正答率が高くなっているため、家庭での過ごし方への協力を、学年懇談会で保護者にお願いした。

(3) 令和5年度学校経営方針(案)について(校長) 資料3

- ・主に修正か所について朱書きと吹き出しでの説明をご覧いただきたい。
- ・自治力は全ての教育目標につながっている。
- ・賞を与えるだけでなく、称賛することで認めていく。
- ・小中一貫教育の充実について位置付けた。

(4) 令和5年度学校行事予定(案)について(教務主任) 資料4

- ・学校運営協議会の日程
- ・参観していただきたい行事：授業参観・運動会・えのき祭
- ・出席していただきたい行事：卒業式

(5) 令和5年度学校運営協議会の組織、日程(案)等について(教頭) 資料5

- ・退任される委員と新たに内諾いただいている委員を紹介した。
- ・第1回目は委嘱状の交付
- ・第2回目は朝の読み聞かせを見学いただきたいので、朝8時からの計画をしている。
- ・第3回目は、給食試食、避難訓練(非告知)の様子を見ていただきたい。

(6) 今年度の取組より(教頭)

- ・とちぎ未来アシストネット
学年部にアシストネットの役割を担ってもらい、PTAの活動として取り組んでいく。
- ・おやじの会
今年度もお世話になったが、今年度で活動は休止予定。執行部などで今後もお世話になる。
- ・危機管理
1月に告知なしで避難訓練を行った。不祥事防止の研修も行った。
- ・いじめ防止基本方針
●週に2度の落書きがあった。空白の時間を作らないようにするための対応をしている。児童指導主任を中心に児童戦略会議を開き、組織として対応中。
- ・創立150周年記念事業益金の活用
広蓋、テント(150周年記念と文字入れ。)
校長室・事務室のカーペットの張り替え等
- ・働き方改革
R5教育計画見直しにあたり、教育総務課より講師を招き校内研修を行い、計画の見直しをしている。他校の取組等を参考に早く退勤できるよう、取り組んでいきたい。

6 ご意見・ご感想等

委員)

- ・スケート学習を楽しめるようになったことは嬉しい。子どものうちに体験したことは、大人になってもよく覚えている。小学校ではあまりないが、中学校では不登校が増えているということでコロナ禍でどういう対応をしているのか。

→ [] 中学校に進学してからの本校卒業生では、今のところ不登校生徒の報告はない。

- ・ICT 機器と従来の学習の形との兼ね合い
→得意不得意はある。研究授業等で研究することで、上達している。
ICT 機器を利用することで、発表がスムーズにできるようになってきたり、友達の意見を参考にしながら、学びが深まったりしている。
情報収集だけでなく、コミュニケーション力のために使っているのはよい。
- ・学校課題としての取組を見せていただけると、我々も勉強になる。
→学校課題は、来年度も ICT 機器を活用した学び合いの工夫なので、ぜひ参観していただきたい。
- ・コミュニケーション力を付けるための手立て
→人前だと緊張してしまう児童もいるが、「何でもコンサート」に出場しようという気持ちをもつことはすばらしい。4・5人ぐらいのグループであれば意見交換ができる児童が多いので、グループ活動を意図的に取り入れている。児童たちはゲーム感覚で取り組めるため、上達が早く、ICT 機器を使うこともコミュニケーションの一つとなっている。

委員)

- ・おやじの会が今年で終了ということだが、アシストネットは女性の方が多いので、男性の方をお願いしたいこともあるので、声掛けをしておいてほしい。
中学校への引き継ぎを十分にしておいてほしい。
→中1ギャップ、小学校から中学校への接続がなだらかになるような取組を行っている。

委員)

- ・おやじの会への勧誘が難しくなり、終了という流れになった。窓口としての機能は残していく方向にしたい。
LINE等で情報を流して、参加できる人を募集する仕組みを検討していく。中学校ではおやじの会に入っている人が多い。

委員)

- ・ [] として、落書きのことを [] からも聞いていた。先生方が対応してくれたので、よかった。いじめにつながらないようにお願いしたい。中学校統合となった時、スムーズに新しい環境に慣れるような対応もお願いしたい。

委員)

- ・中学校への進学時に小規模の小学校から入学する子が同じクラスになるように配慮してもらったおかげで、不登校にならずに過ごせた。

委員)

- ・「何でもコンサート」は自己表現の場としてとてもよい。自分の得意なことを表現し、認めてもらうことで、いじめがあっても、乗り越えられるのではないかと思う。上手でなくても一生懸命な姿に感動するので、続けてほしい行事の一つ。スマホ等で目を酷使しているのではないかと思うので、目を休ませる時間をつくることを家庭へ呼び掛けをしていってほしい。

7 事務連絡

- ・令和5年度第1回学校運営協議会 令和5年5月10日(水) 18:30～19:30

- ・3/17(金)卒業式にも職員の一員としてご出席いただきたい。案内状を近日発送予定。